

金価格、年後半には\$5,000～\$6,000 への回帰がベースケース

～現在の4,200ドルは、歴史的な買い場～



エグゼクティブサマリー(結論)

2026年3月24日現在、金(ゴールド)の価格は1オンスあたり約4,200～4,500ドルで推移しています。1月末につけた史上最高値の約5,600ドルから20%以上下落し、数字だけ見ると「金はもう終わりか?」と思えるかもしれません。[1,2,3]

結論から言えば、今の下落は一時的なもので、長期的には金価格は再び上昇する可能性が高いです。J.P. Morgan、Goldman Sachs、UBSなど世界のトップ金融機関は、2026年後半～2027年にかけて5,000～6,000ドルへの回帰をメインシナリオとして維持しています。つまり、今の4,200ドル台は歴史的に見て「買い場」になり得る水準です。[7,9,10]

投資判断としては、短期的にはまだ乱高下が続くと想定されますが、中長期(半年～1年)の視点では「押し目買い」が推奨される局面です。

1. 今、金に何が起きているのか

金が下がっている最大の理由は、「戦争が起きているから」ではなく、「戦争の影響で金利が高止まりしているから」です。普通、戦争や地政学リスクが高まると金は「安全資産」として買われます。ですが、今回は中東での軍事衝突(米国・イラン)がエネルギー供給を物理的に破壊

し、原油価格が115ドル近くまで急騰しました。[2,5]

原油高はそのまま世界中の物価上昇(インフレ)につながります。インフレが止まらない状況では、各国の中央銀行は金利を下げるできません。米国のFRB(連邦準備制度理事会)は2026年3月の会合で金利を3.50~3.75%に据え置きました。年内の利下げ見通しも、当初の2回から1回へと後退しています。[1,5]

現在の貴金属市場の価格帯と最大下落率は以下の通りです。

貴金属	2026年1月最高値からの最大下落率	2026年3月23-24日の価格帯
金(Spot Gold)	約22~23%	\$4,254-\$4,576/oz
銀(Spot Silver)	約30%(単日最大)	\$65.61-\$69.47/oz

2. 金が下落している3つの理由

理由1: 金利が高い状態が続いている

金は利息がつかない資産です。銀行預金や国債が年3~4%の利息を生む環境では、「利息ゼロの金を持つより、国債を持った方が得」と考える投資家が増えます。米国10年国債の利回りは4.39%と高水準にあり、これが金にとって最大の逆風です。[1]

理由2: ドル高

戦争不安で「一番安全な通貨」としてドルに資金が集中し、ドル高になっています。金はドル建てで取引されるため、ドルが強くなると金の価格は相対的に下がります。特に日本円やユーロを持つ投資家にとっては、ドル高のせいで金が「割高」に見えるため、買いが入りにくい状況です。[1,6]

理由3: 機関投資家の換金売り

株式市場が急落した際、大口の投資家やヘッジファンドが「追証(マージンコール)」への対応を迫られ、手元資金を確保するために金を売却しました。金は市場の流動性が高いため、皮肉にも「最も売りやすい資産」として真っ先に換金の対象になったのです。1月の最高値まで積み上がっていた大量の投機ポジションが一気に崩れ、下落が加速しました。[1,4]

3. それでも長期的に金が上がると見られている理由

理由1: 世界の中央銀行が金を買い続けている

2025年、世界の中央銀行は合計863トンの金を購入しました。特にポーランド(年間102トンで最大の買い手)や中国が積極的に金を買い増しており、韓国も12年ぶりの購入を検討しています。これは米ドルへの過度な依存を減らす「脱ドル化」の動きであり、一時的なトレンドではなく構造的な変化です。[7,8]

理由2:まだ金に投資していない資金が膨大にある

Goldman Sachsの分析によれば、米国の民間投資家のポートフォリオに占める金ETFの割合はわずか0.17%です。J.P. Morganは「外国人が保有する米国金融資産のうち、たった0.5%が金に流れるだけで、価格は長期目標に到達する」と指摘しています。今後、資産配分の見直しが進めば、巨大な資金が金市場に流入する余地があります。[9,10]

理由3:政府の借金は増え続け、通貨の価値は下がり続ける

米国をはじめとする主要国の政府債務は膨張し続けています。高金利が続けば利払いの負担が限界に達し、最終的には利下げと金融緩和に追い込まれます。その時、通貨(ドル・円・ユーロ)の価値が下がり、金の相対的な価値は上がります。世界のトップ金融機関が長期で強気なのは、この「通貨価値の下落に対する保険」として金が選ばれるからです。[1]

4. 主要金融機関の価格予測

以下は、2026年3月時点で主要機関が出している金の価格予測です。

機関・アナリスト	予測時期	ターゲット価格	根拠
J.P. Morgan	2026年末	\$6,300(平均)、上限 \$8,000-\$8,500	中央銀行の安定需要、通貨価値毀損への防衛(2月に\$6,300から上方修正)
J.P. Morgan	2027年Q4	\$5,400(平均)	長期的な財政赤字と地政学的リスク
Deutsche Bank	2026年12月末	\$4,900-\$5,400	ETF資金流入、富裕層の現物需要、通貨価値下落リスク
Goldman Sachs	長期	\$6,000	長期的な通貨価値毀損と脱ドル化の進行
UBS	2026年9月末	\$6,200	マクロ経済の不確実性と米国政策リスクへのヘッジ
UBS	2026年年末	\$5,900	米国中間選挙通過後の緩やかな調整
Bank of America	2026年通年	\$5,000(ピーク)、平均\$4,538	米国債務残高拡大と財政規律の喪失

Deutsche Bank	2026年年末	\$4,450-\$5,000	長期\$6,000は維持、年内は現実的レンジ
Ed Yardeni	2026年年末	\$6,000	インフレの粘着性、政府債務、地政学的危機の組み合わせ
World Bank	2026-2027年	2026年に最高値更新	安全資産需要と中央銀行買いで最高値更新、2027年にラリー終息

注目すべきは、短期的には4,000ドル割れのリスクを指摘する声もある一方で、6ヶ月～1年先の見通しでは、ほぼ全ての大手機関が5,000ドル以上を予想している点です。「今は一時的な調整であり、長期のトレンドは変わっていない」というのが市場のコンセンサスです。

5. ビットコインとの比較

金と並んで注目されるのが「デジタル・ゴールド」と呼ばれるビットコイン(BTC)です。BTCは過去10年で約27,000%のリターンを記録し、時価総額1.4兆ドルに達しています。今回の中東危機では一時63,000ドル台まで急落する場面がありましたが、その後71,000ドル付近まで反発しており、金が最高値から20%超の下落水準にとどまっているのとは対照的な回復力を見せています。トランプ大統領のイラン攻撃一時停止の発表を受けて約2.7億ドル規模のショートポジションが強制清算されるなど、地政学イベントへの反応が極めて速い点が特徴です。[11,12]

長期的には金とビットコインは共通の追い風を受けています。どちらも「政府が勝手に増やせない資産」であり、通貨の価値が下がる世界では需要が高まります。直近の動きだけを見れば、金が下落から戻れていない一方でビットコインは底打ちの兆しを見せており、「デジタル・ゴールド」としての底堅さが際立つ展開です。ただし、各国の中央銀行が外貨準備として選んでいるのは依然として「金」であり、国家レベルの信用を裏付ける資産としては、数千年の歴史を持つ金に分があります。[8]

6. 結論：投資判断

現在の4,200～4,500ドルという価格帯は、長期的な投資サイクルにおいて「歴史的な買い場」になる可能性が高いです。[7,9]

短期的なリスク：中東情勢の行方と米国金利の動向次第で、まだ激しい値動きが続きます。最悪のケースでは一時的に4,000ドルを割る可能性もゼロではありません。

中長期的な見通し：世界のトップ金融機関は、2026年後半から2027年にかけて5,000～6,000ドルへの回帰をメインシナリオとしています。中央銀行の金購入、機関投資家の資産配分見直し、そして政府債務の膨張という構造的な追い風は、短期の金利・ドル高の逆風をいずれ上回ると見られています。

投資戦略としては、一度に大きく買うのではなく、価格が下がったタイミングで少しずつ買い増していく「押し目買い・分散投資」のアプローチが推奨されます。

引用文献

- [1] Gold Is Falling Because of the War, Not Despite It | [Investing.com](https://www.investing.com/analysis/gold-is-falling-because-of-the-war-not-despite-it-200677115), 3月 24, 2026にアクセス、
<https://www.investing.com/analysis/gold-is-falling-because-of-the-war-not-despite-it-200677115>
- [2] Gold prices crash 20% from record high, enter bear territory | LiveMint, 3月 24, 2026にアクセス、
<https://www.livemint.com/market/commodities/gold-prices-crash-20-from-record-high-enter-bear-territory-can-they-slip-below-4000ounce-11774264455685.html>
- [3] Gold, Silver Rates Crash Today Live Updates | Times of India, 3月 24, 2026にアクセス
- [4] Boom and bust of the recent silver and gold rush: the role of leveraged retail investors | BIS, 3月 24, 2026にアクセス、
https://www.bis.org/publ/qtrpdf/r_qt2603w.htm
- [5] Federal Reserve Holds Rates: Guidance May Leave Gold's Near-Term Direction Unresolved | Crux Investor, 3月 24, 2026にアクセス
- [6] Gold prices down 18% since Iran war! | Economic Times, 3月 24, 2026にアクセス
- [7] Gold run to continue | UBS, 3月 24, 2026にアクセス
- [8] Central Banks - Gold Demand Trends | World Gold Council, 3月 24, 2026にアクセス、
<https://www.gold.org/goldhub/research/gold-demand-trends/gold-demand-trends-full-year-2025/central-banks>
- [9] Commodity Views 2026 Outlook | Goldman Sachs, 3月 24, 2026にアクセス
- [10] Gold price predictions | J.P. Morgan Global Research, 3月 24, 2026にアクセス、
<https://www.jpmorgan.com/insights/global-research/commodities/gold-prices>
- [11] Bitcoin vs. Gold: Which Will Make You Richer? | Motley Fool, 3月 24, 2026にアクセス
- [12] Bitcoin holds \$68,000 | DL News, 3月 24, 2026にアクセス